

OPTIMUS

OF SWEDEN

123R SVEA

ULTRA-CLASSIC GASOLINE STOVE

取扱説明書

OPTIMUS of Sweden | Cooking since 1899





取り扱い上の注意

- 本製品は屋外専用のストーブです。屋内やテント内で使用されますと火災や酸欠による死亡事故等、重大な事故の原因になりますので絶対におやめください。
- 燃料はホワイトガソリンを使用してください。ホワイトガソリン以外の自動車用ガソリン等を使用した場合、燃焼不良の原因になるばかりでなく、触媒装置の無い排気ガスを吸入することと同じで発ガンの原因になります。
- 直径 11cm以上の大きなコッヘルは載せないでください。大きなコッヘルを使用すると燃焼中の反射熱でタンクが熱せられ、内圧が上がり過ぎてタンクが破裂することがあります。
- 燃焼中はストーブのそばから離れないでください。
- 燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
- 燃焼中及び消火後しばらくは本体は高温になっています。火傷の原因になりますので直接触れないようにしてください。
- お出かけ前には必ず燃焼テストをおこなってください。

安全にお使いいただくために

このたびはオプティマススベアをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

スベアは 1800 年代後半にスウェーデンで開発され、以来 100 年以上にわたり当時の姿をほとんど変えることなく現在に至っています。優れた機能性と時代に流されないシンプルなデザイン、そして何よりも使う人の心を和ませる不思議な魅力をもつスベアは世界中で最も多く使われ、愛されてきたガソリンストーブと言えます。

みなさまの安全のために、ご使用になる前にこの説明書をよく読み正しくお使いください。本説明書は保証書を兼ねておりますので大切に保管し、修理を依頼される際は本体に添えて販売店にお持ちください。スベアがみなさまの良きアウトドアパートナーとして末永くご愛用いただけますことを願っています。

OPTIMUS 日本正規輸入代理店

株式会社スター商事

☎ 116-0014 東京都荒川区東日暮里 4-5-16

Tel. 03-3805-2651 Fax. 03-3891-7042

Email info@star-corp.co.jp

URL <https://star-corp.co.jp>

使用方法

1. 注油

- 風防 (2100) を外してください。
- 注油口キャップ (2044) を外してホワイトガソリンを入れてください。ガソリンの量はタンク容量の%を超えないでください。タンク容量は 0.18ℓ です。

2. 予熱・点火

- 調整キー (2064) をバルブスピンドル (2189) に差し込み、時計まわりに一杯まで回してバルブが閉じていることを確認してください。
- タンク上部のくぼんでいる部分に市販されている予熱剤を適量のせてください。
- 風防をかぶせてから予熱剤に着火してください。
- 予熱の炎が燃え尽きるころになったら調整キーを差し込んで反時計回りにゆっくりと回してください。ニップルから気化したガスが噴射しますのでマッチ等で着火してください。点火します。

【注意】 万一、ガソリンが気化しないで液状のまま噴出した場合、ガソリンに引火して炎が燃え上がります。この状態になったら落ち着いて調整キーを時計まわりに一杯回してバルブを閉め、消火するまで待ってください。消火後、再度時間をかけて十分に予熱をおこなってください。

3. 火力の調節

- 調整キーを反時計まわりにゆっくり回すと火力が上がります。最大火力の位置からさらに回すと内蔵されているクリーニングニードル (2458) の針がニップル (2509) の穴から出てきて火力が下がります。火力調節は最大火力までの範囲で調整キーを左右に回して調整してください。

- 点火直後はバルブをいきなり大きく開けすぎないでください。炎の状態を見ながら徐々に火力を上げるようにしてください。一旦本体が温まると火力が安定してきます。
- 燃焼中は調整キーをスピンドルから外してください。差し込んだままにしますと熱くなりますので注意してください。

【注意】 使用するコッヘルは大き過ぎないものをお使いください。大きなコッヘルを載せると反射熱でタンクが熱せられタンク内の圧力が上昇します。圧力が上がり過ぎると注油口キャップ中央部の安全弁が作動して圧力が一気に抜け、その際、瞬間的に噴出したガスに引火して炎が勢いよく吹き出します。この状態にならない為にタンクの圧力が上がり過ぎないように十分注意してください。一旦安全弁が作動すると注油口キャップを交換しなければなりません。

4. 消火

- 消火する際は、調整キーを時計まわりに一杯回してください。
- 使用後は、本体が冷めてから注油口キャップをゆるめてタンク内の圧力を抜いてください。

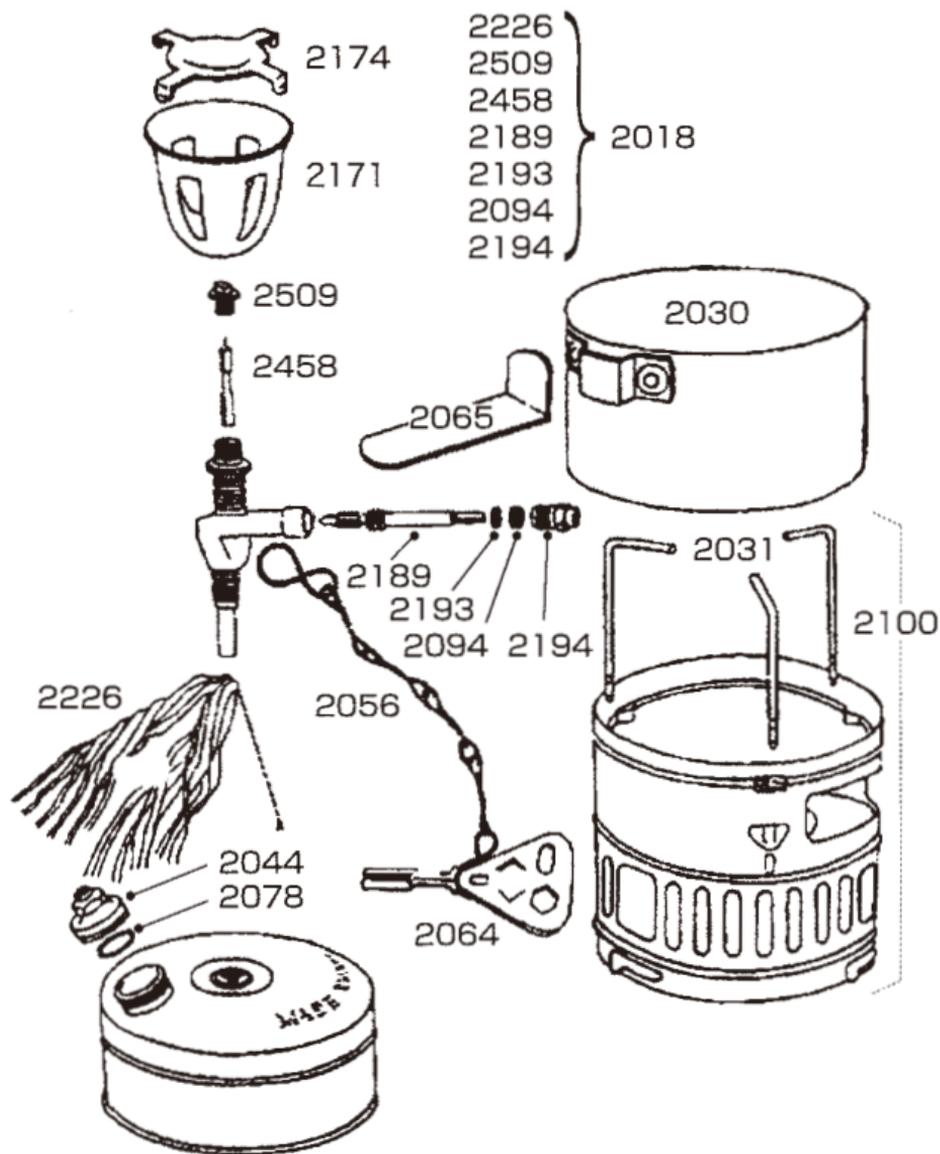
5. ニップルのクリーニング

スペアにはニップルの穴を掃除するためのクリーニングニードルが内蔵されています。

以下の要領で定期的にクリーニングをおこなってください。

- ガソリンが燃焼することで少しずつニップルの穴にススがたまり燃焼の炎が弱まってきます。この状態になったら調整キーを素早く最大火力の位置からさらに回してニップルのクリーニングをおこなってください。
- 万一、炎が消えたらすぐにマッチ等で点火してください。

分解圖



お手入れの方法

- 使用後はタンク内のホワイトガソリンを抜き、本体をきれいに拭いてから風通しのよい場所に保管してください。ガソリンを入れたままにしますと水分が発生してタンク内が錆びる原因になります。
- 燃焼中にスピンドル(2189)とスタッフィングボックス(2194)の隙間からガス漏れが発生して小さな炎が出ることがあります。この症状になったら調整キーのハンドルに付いている六角の穴を使ってスタッフィングボックスを少しだけ締め付けてください。ガス漏れが解消します。

| パーツ No. | パーツ名 | パーツ No. | パーツ名 |
|---------|------------|---------|-------------|
| 2018 | バルブアッセンブリー | 2100 | 風防 |
| 2030 | ソースパン | 2171 | バーナーヘッドセット |
| 2031 | 三脚 | 2174 | |
| 2044 | 注油口キャップ | 2189 | バルブスピンドル |
| 2056 | クサリ | 2193 | メタルリング |
| 2064 | 調整キー | 2194 | スタッフィングボックス |
| 2065 | ソースパンハンドル | 2226 | ウィック |
| 2078 | 注油口ゴムパッキン | 2458 | クリーニングニードル |
| 2094 | グラファイトパッキン | 2509 | ニップル |